

(別紙)

令和 7 年 12 月定例会議 一般質問

10 番議員 山下 純夫

開成駅の乗降客数増加策は

令和 8 年度より県立大井高校が他の高校と再編統廃合されることが決定した。

大井高校では、2025 年 5 月 1 日現在で 119 名の電車通学者があり、その全員が開成駅を利用しているかどうかの確認はできていないが、最大で 1 日平均 240 名近い開成駅の乗降客となっており、来年度以降その分の減少が見込まれる。

これは 2024 年度の 1 日平均乗降客数 12,818 人を分母にすると 1.86% であり、2023 年度に対する 2024 年度の増加率 3.46% の 5 割を超えて、インパクトのある数値である。

一方、本年 3 月 15 日には開成駅が快速急行も止まる駅となった。

駅開業 40 周年、町制施行 70 周年とも重なるこのタイミングでの一層の利便性向上は喜ばしいが、まとまった数の通学者の減少は気がかりである。

乗降客数の増加が一朝一夕に達成できるものではないことは承知しているものの、意識づけや起爆剤、鉄道会社への本町の期待を表すためにも何等かの施策が必要なのではないか。

そこで、改めて開成駅の 1 日平均乗降客数増加策をどう考えているのか、具体策を問う。